

平成28年度 神奈川県立上矢部高等学校 不祥事ゼロプログラム

	取り組み課題	目標	達成のための行動計画	強化月間	担当グループ等
1	公務外非行の防止 (法令遵守意識の向上)【必須事項】	公務員としての自覚を持ち、政治的中立を厳守し、法令遵守の行動をとる。	①公務外非行の具体的な事例を教材として、研修を実施する。 ②公務員としての自覚を高めるよう様々な機会を捉え注意を喚起する。	8月	校長
2	セクハラ・わいせつ行為の防止【必須事項】	人権に配慮した行動の徹底に努める。	①セクハラ・わいせつ行為の事例資料を配付し、不祥事防止の啓発に努める。 ②スクールセクハラに対する研修会を実施する。	7月	管理職
3	体罰・不適切指導【必須事項・県立学校】	体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	①体罰防止・不適切指導に向けた啓発資料を配付し、研修会を実施する。 ②生徒指導に関する事例を共有し、全職員の理解を深める。	10月	生活指導グループ
4	成績処理及び進路関係書類の作成【必須事項・県立学校】	成績処理・調査書等に関する事故を未然に防止する。	①定期試験などの作問・採点・成績処理において、複数チェック体制で点検を実施する。 ②調査書・進路関係書類の作成・点検において、適切な業務を行う。	6月	学習支援グループ
5	個人情報管理・情報セキュリティ	個人情報を適正に管理し、保護に努める。	①個人情報の取り扱いに関するマニュアルに基づき、個人情報保護について全職員の共通理解を図る。 ②文書の保管期間を明確にし、保管期間が終了した文書の廃棄を徹底する。	4月 9月	生徒支援グループ
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止	酒酔い・酒気帯び運転を防止し、交通事故を未然に防ぐ。	①交通事故のチェックリストを作成し、事故防止会議を通じて交通ルールの遵守と交通安全について確認する。 ②飲酒の身体に及ぼす影響を確認し、自制と注意を喚起する。	11月	学校運営グループ
7	業務執行体制	業務執行を適正に行い、事故防止に向けた適切な業務執行体制を構築する。	①法令の諸規定に基づき、日常の点検を行って、適切な業務を遂行する。 ②日常的な報告・連絡・相談体制により情報を共有し、協力して業務を行う。 AED使用法講習会を実施する。	2月	管理職 ※AEDについては別に日程を検討
8	経理処理(公費、私費、現金管理)	学校徴収金・団体徴収金・部費等の事故を未然に防止する。	①私費会計の事故防止資料を配付し、事故防止会議(全体会)で全職員の理解を図る。 ②私費及び部費の会計担当者を対象として、会計事故防止研修会を実施する。	5月	地域連携グループ ※「私費会計ハンドブック」の確認
9	入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	①入学者選抜業務について適切なマニュアルを作成し、チェックリストに基づいた点検を行う。 ②選考基準及び選考方法について研修会を実施し、事故防止に向けて職員間の共通理解を図る。	1月	管理職 キャリア教育支援グループ 入選担当
10	管理職による個別面談	教職員の事故防止に対する意識を高めるとともに、日常業務の再点検を行う。	①チェックリストの記入と事故防止への提案聴取。 ②校長、副校長による個別面談。	随時	校長 副校長

※日常の呼びかけをするほか、職員会議の前か後「事故防止会議」としてに設定します。また、外部講師の研修も予定しています。
※日ごろから職員必携、「サービスハンドブック」「私費会計ハンドブック」等で確認する習慣をつけましょう。